

## 新たな地域公共交通網形成計画策定に向けて

市民文教委員会 9月7日

所管事務調査

地域公共交通会議の検討状況

地域公共交通会議の検討状況について説明を受けました。  
主な質疑は次のとおりです。

【問】コミュニティバスの収支率向上を図るための対応は。

【答】抜本的な運行ルートやダイヤ改正を実施する大きな取り組みも必要だが、リスクもあるため、実施時期に備え検討を続けていく。

【問】多様な交通形態としてデマンド交通などの考えは。

【答】定時定路線との組み合わせが有効な地域はありと考えているため、視野を広く持つて検討を進めていく。

【問】収支率の低い路線を、廃線も含め見直す考えは。

【答】具体的には答えられないが、可能性はあると考えている。

## その他に開催された委員会

- 7月27日 福祉環境委員会  
国民健康保険料
- 9月18日 政策課題調査特別委員会  
東三河広域連合議会常任委員会の開催状況等  
豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略取組状況報告書

## 市議会防災研修会

- 9月21日 防災研修会

議会では、防災研修の一環として災害発生時の自主防災組織が初動段階でどのような災害対応ができるかを考えるイメージTENを行いました。イメージTENとは、Image(想像) Training(訓練) & Exercise(演習) of Neighborhood(隣近所)が名称の意味ですが、イメージする課題が最大10題付与されることも「TEN」の由来です。今回は、課題を7題付与し、グループごとに具体的な意見を出し合うことで、災害対応の難しさを学びました。



災害時の自主防災組織の具体的な対応について学びました

## 陳 情

**陳情第7号** 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情

陳情者代表 近藤 洋子

**結 果** 陳情第7号は、市民文教委員会において、趣旨採択と決定。

**陳情第8号** 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者代表 近藤 洋子

**陳情第9号** 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者代表 近藤 洋子

**結 果** 陳情第8号及び第9号は、各派交渉会において「聞きおく」と決定。

- ※ 国や県に対して意見書の提出を求める陳情は、申し合わせにより「聞きおく」としています。
- ※ 「聞きおく」とされた陳情は、全議員にその写しを配付し、各会派が陳情内容により意見書や決議の発議が必要と判断した場合は、定例会の中日の前日までに案を添えて議長に申し出ることになっています。
- 今期定例会において、申し出はありませんでした。

## 福祉環境委員会



秋田市役所会議室にて

- 8月1日 神奈川県小田原市 小田原市再生可能エネルギーの利用等の促進に関する条例
- 8月2日 秋田県秋田市 合葬墓
- 8月3日 千葉県習志野市 習志野市子ども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画第2期計画

秋田市では、墓地を継承する者がいない、子どもに迷惑をかけたくないなどの理由から承継者を必要としない墓地に対するニーズが高まっていることを受け、合葬墓を整備し、市営墓地の無縁化の抑制を図っています。本市の今後の墓地の整備を考える上で、その取り組みは大変参考になりました。

## 市民文教委員会



山口市役所会議室にて

- 8月1日 福岡県北九州市 教員の多忙化の改善に向けた取り組み
- 8月2日 山口県山口市 住民が主体となった地域公共交通

山口市では、交通計画策定の段階から市民とともに考え、市民の移動手段は、みんなで創り育てるという姿勢のもと、市民、行政、事業者が協働して交通施策に取り組んでいます。地域勉強会の取り組み、コミュニティタクシーやグループタクシーの導入、収支率の基準を達成するための取り組み、公共交通利用の動機づけとなる事業などは大変参考になりました。

## 産業建設委員会



日南市油津商店街Yottenにて

- 8月1日 鹿児島県鹿屋市 ばらを活かしたまちづくり
- 8月2日 宮崎県日南市 商店街の活性化
- 8月3日 宮崎県宮崎市 中心市街地活性化プロジェクト『みやざきアートセンター』

日南市では、空き地・空き店舗の増加や歩行者・小売販売の減少など、油津商店街の衰退がみられたことから、民間人を登用して、内需の循環、外需の獲得、まちなみ再生を目指した結果、多くのIT企業の誘致に成功しました。それにより、雇用が増え、子育て世代が増えたことで、子育て支援施設がオープンし、商店街の歩行者通行量も増え、平日の消費も増えました。持続可能な商店街を目指すさまざまな取り組みは大変参考になりました。